

分野別の施策

区の将来像の実現に向けた8つの方針に基づき、現状や課題、めざすべき姿やそれを実現させるための方策をまとめました。

第15回さくら写真展 みずほ賞
「かわ・人・さくら」

将来像Ⅱ

地域での多世代間及び多様な主体間の交流により、ふれあいの輪を広げ、親睦を深めることで、地域が活性化し、いざという時に地域で協力し、お互い助け合つことができます。

ずっと笑顔が生まれるまち

【地域コミュニティ】

方針2

地域でのふれあいや
交流を深めるまちづくり

まちが元気になると、
若い人や外国の人など
みんなが笑顔になるね。
そのためには
何が必要だろう？



現状

昨今、地域コミュニティ機能の低下や地域が抱える課題が複雑かつ多様化する中、町内会・自治会の加入率も低下し、地域活動の担い手が不足しています。

また、年々、外国人区民が増加し、互いの言葉や文化などの違いにより地域住民とのコミュニケーションが図れずコミュニティが分断されてしまうこともあります。

●町内会推計加入率

*各年4月1日現在

	加入率	算定方法
平成24年	84.4%	区政協力委員受け持ち世帯数 ÷ 世帯数 × 100
平成28年	81.9%	加入世帯数 ÷ 世帯数 × 100
平成30年	79.8%	加入世帯数 ÷ 世帯数 × 100

●外国人人口



*各年10月1日現在

課題

- ◆町内会・自治会の加入促進を支援する必要がある。
- ◆主体的な地域活動が今後も継続して行われるよう支援をしていく必要がある。
- ◆多文化共生意識の向上を図ることが必要である。
- ◆個人では解決が難しい問題は地域の課題としてとらえ対応していく必要がある。
- ◆地域ニーズに応じたふれあいの機会を提供する必要がある。

FUTURE
VISION of
MIZUHO
2020-2023



施策

4

地域コミュニティの活性化につとめます

実現させるための方策

町内会・自治会の加入促進の支援

町内会・自治会活動紹介コーナーを設置するなどして、加入促進を支援します。

地域活動の活性化を支援

コミュニティサポーターを活用するなど、地域活動の活性化を支援します。

学生との協働によるコミュニティの活性化

区内の大学と連携して、学生が地域活動に参加する仕組みをつくりま

外国人区民とのコミュニティ形成の支援

地域における外国人区民の状況を把握し、コミュニティの形成に向けて必要な支援を行います。



山の畑（はたけ）プロジェクト



施策

5

協働や交流を通じたふれあいのあるまちづくりを進めます

実現させるための方策

地域を活性化させる事業の実施

区役所が主体となり地域団体等と協力し、住民同士がふれあう機会をつくりま

地域における交流の促進

住民の交流がより深まるよう、地域で行われている行事を支援します。



成果指標

指 標	現状値	目標値
町内会・自治会の加入率	79.8% (H30 年度推計加入率)	82%
地域活動※に参加している区民の割合	36.1%	40%

※地域活動：町内会・自治会、学区連絡協議会、女性会、子ども会、老人クラブ、PTAなどが行っている活動や見守り活動、福祉活動、清掃活動などの地域におけるボランティア活動

